

第114号

ふれあい

一関市室根市民センターだより



▲地域の歴史について、質問や意見などを交わし、より学びを深めました。

熊野神勸請と
信仰・文化を学ぶ
文化史講座

文化史講座では「室根と唐桑を結ぶ祭礼・和歌山からの海の道」をテーマに全2回の講座を行いました。

第1回目の歴史講演会は、8月26日水に「室根山に宿る熊野の神々」神話とまつりの伝承を読み解く」と題して行われ、講師の千葉栄一氏(室根町史談会会長)より室根神社に祀られている神々や大祭にまつる伝承など、歴史の年表に合わせながらわかりやすく講演していただきました。

講演後には、参加した皆さんから積極的な質問があり、意見交換も交えながら和気あいあいと語らう場面もありました。

また、9月10日木は「海路がもたらした熊野信仰と唐桑の神社と鯉漁文化」と題し、気仙沼市唐桑町で移動研修を行いました。唐桑観光ガイドの会の戸羽芳文氏を講師に、瀬織津姫(せおりつひめ)神社・業除(ごのけ)神社・三陸地方鯉一本釣り発祥の地の碑をめぐる、最後に唐桑半島ビジターセンターで全体を通した内容を解説していただきました。

全2回の講座を通して、熊野神が当地方に勧請されただけでなく、室根を含む周辺の、多くの人たちの生活にも深く関わっているということを知り、10月に行われる室根神社特別大祭への思いも深まった講座となりました。



▼唐桑側に伝わる熊野神勸請の歴史を解説(瀬織津姫(せおりつひめ)神社)

夢中になる秋！
～陶芸・切り絵教室～

「陶芸教室」では、「板つくり」による陶芸作品作りに挑戦しました。

8月25日(火)折壁地域で陶芸を行っている熊谷福男氏を講師に、板状にした粘土から作る手法の陶芸を基礎から学びました。

参加した皆さんは湯飲みやコーヒーカップなどをそれぞれ3個作り上げ、釉薬を選びながら完成を楽しみに思い描いていました。

また、「切り絵教室」は9月17日木に最終回を迎え、取り組んできた作品の完成を喜びました。



▲お互いの作品を見せ合うのもまた楽しみのひとつ



▲思い思いの陶芸作品作りを楽しみました

行事予定 ※26日～翌月25日までの予定を掲載していますが、変更・中止となることがございます。

月 日	行 事 内 容	場 所	時 間
9月	26(土) 曲ろくの花づくり体験教室	室根市民センター	9:00～15:00
	27(日) 初心者カメラ教室③	室根市民センター	16:30～18:30
	28(月) 健康増進グループ 百歳体操	室根市民センター	10:00～12:00
	29(火) 馬子節体験教室	室根市民センター	19:00～20:00
	30(水) 一刀彫教室⑤	室根市民センター	9:30～11:30
10月	1(木) 成人わいわい塾移動研修	遠野市	7:45～17:50
	3(土) 子ども土曜塾「お習字教室」④	室根市民センター	10:00～12:00
	家庭教育学級「親子サッカー教室」	室根こども園	9:30～10:30
	東日本1部岩手県予選	室根野球場	
	東日本1部岩手県予選	室根野球場	
	第68回室根一周駅伝競走大会	室根町内	旧津谷川小学校前 10:00 スタート
	5(月) 健康増進グループ 百歳体操	室根市民センター	10:00～12:00
	7(水) 初心者カメラ教室④		19:00～21:00
	8(木) 第16回室根杯グラウンドゴルフ大会	室根多目的グラウンド	
	9(金) 第16回室根杯グラウンドゴルフ大会(予備日)	室根多目的グラウンド	
	10(土) 東日本1部岩手県予選(予備日)	室根野球場	
	13(火) 健康増進グループ 百歳体操	室根市民センター	10:00～12:00
	19(月) 健康増進グループ 百歳体操	室根市民センター	10:00～12:00
	23(金) 室根神社特別大祭(～25(日)まで)		
	24(土) 大祭協賛行事 第17回室根大祭登山マラソン	室根体育館～室根山	9:30～11:30
	大祭協賛行事 第10回むろね創作太鼓フェスティバル	室根体育館	15:00～
	25(日) マツリバ行事		

編集/発行：一関市室根市民センター
〒029-1201
岩手県一関市室根町折壁字大里 201-1
TEL. 0191-64-2347/FAX. 0191-64-3044
E-mail: mmachikyo-kt@tiara.ocn.ne.jp

【編集後記】

いよいよ秋も本番となり、産業文化祭やむろね音楽会、今年は室根神社特別大祭とその協賛行事もあるため、市民センターでは大忙しの日々となっています。何やら季節外れのインフルエンザも全国的に流行しているとのこと。体調に気をつけて秋の行事を多に楽しみましょう！
(K. T)

中学生 お仕事体験

中学生による
取材記事

社会体験学習のため室根市民センターに室根中学校2年生の昆野心美さんと小山松奈さんが来ました。

8月26日(水)から8月28日(金)の3日間、旧津谷川小学校の施設点検などの通常業務の他、当センターで実施する教室に実際に参加しながら運営も積極的に体験してもらいました。

また、市民センター広報の取材として、他施設で社会体験をしている生徒に取材をし、実際の記事作りにも挑戦しました。実際の仕事を体験され、少し



▲取材では記事にする時のことを考えて質問や撮影をしました！

8月24日から5日間、室根こども園で社会体験学習を行っていた高橋愛来さん、遠藤翔海さん、及川颯人さん、西村礼愛さんにお話を伺いました。

4人は、子どもたちが言う事を聞いてくれなかったり、暴れてしまうことがあり大変と話していました。

また、優しい言葉を使ったり怪我をさせないように気を付けているそうです。

子どもたちと仲良く遊んだり絵本を読むなど積極的に取り組んでいました。(昆野)



▲プールじまいのお手伝い (小山さん撮影)

同期間、松岡細さんと沢田光莉さんが株コメリ室根店で社会体験学習を行いました。沢田光莉さんにお話を伺いました。コメリでは、品出し、商品の整理、掃除やテープ貼りなどをやるそうです。品出しや商品の整理が大変だが、商品を並べるのが上手にできてうれしいと話していました。



▲品出し、整理を経験 (昆野さん撮影)

おいしく学ぶ！

韓国伝統料理

八幡沖女性学級

韓国料理を学ぶことを目的に、八幡沖女性学級では、9月6日(日)「料理教室」を開催しました。梅原智子氏(奥州市在住)を講師に野菜チヂミ(小麦粉や米粉の生地)に野菜や海鮮を加えて焼き上げたもの」とチャン

チグクス「宴会の麺」という意味をもつ韓国の祝いの席でふるまわれる麺料理の作り方を教わりました。どちらの料理も野菜やだしのおまみ効いたおいしさで、盛り付けの際には、さまざまな食材を、色味を考えながらバランスよく使う「五味五色」についても学びました。

参加した皆さんは韓国の伝統的な料理の味わいながら交流を深めていました。



▲韓国文化やおいしく作るコツも教わりました！

北上川源流と偉人を訪ねる旅

折壁・矢越高齢者学級

北上川の源流や岩手の偉人について学ぶため、高齢者学級では、9月2日(水)に折壁地区、9月9日(水)に矢越地区がそれぞれ盛岡周辺の地域へ移動研修を行いました。

岩手町にある北上川の源流「弓張(ゆは)の泉」を見学した後、石川啄木記念館を見学しました。

石川啄木記念館では館長の解説

もあり、参加した皆さんは、熱心に耳を傾けている姿が印象的でした。

普段なかなか行けない距離での移動研修ということ

で、参加した皆さんからは「初めて来た」「いい研修だった」との声が多く聞かれ、地域の交流を深めながら、新たな学びも深めた移動研修となりました。

▼興味深く熱心に見学しました(矢越地区)



▲石川啄木記念館館長の丁寧な解説(折壁地区)

文芸(短歌・俳句・川柳)

7月26日～8月25日 投句

短歌

佐藤 知男 選

もし母が居たらと思う田草取り

あのスピードと仕上がりの良さ

もし何かあったら大変その為に

靴に入れておくお薬手帳

矢越 加藤 光春

竜胆を夫と育てし日の遙か

施設に活けし紫の濃し

大観音胎内巡りは夢の如

見上げる笑顔に別れを告げる

矢越 小山 富子

にぎやかに多くの蟬の大合唱

季節は今も移り行きけり

折壁 雷 風

《選者詠》

幾百のかまきり孵りそれぞれが

小さき鎌持つやはき体に

秋立ちて風が見えたり

穂揃ひの稲田に波を描き過ぎ行く

俳句

村上 群青 選

白百合の咲きし日のこと初投句

暑がりの通所仲間とかき氷

墓碑銘に思い出多し彼岸花

折壁 小山 すゑ

油蟬汗をしばれと言うがごと

鬼やんま部屋を覗いて去りにけり

送り盆見上げる雲のうすくなり

折壁 雷 風

金槌の君を笑った夏が来る

お勧めは筍飯と云いあげる

年寄りに草刈りきつし大夕焼

矢越 加藤 光春

長雨や頭を垂れる百日紅

半歩右ぎりぎり外す西瓜割り

折壁 草村山葵

《選者吟》

鎮魂の鐘渡り来る花野かな

川柳

内田 正好 選

真夏日にエアコン付けてありません

孫が言うスターマインがしびれてる

矢越 尾山 与太郎

可笑しいな自分の句観て笑ってる

此の世には寝るほど楽な事は無し

羊でも又数えるか不眠症

矢越 加藤 光春

花火には風物詩かな渋滞車

暑いから地ビール飲んで乾杯だ

折壁 昭和 小葉

日日には街の話題が先に出る

雨つづきにんじん持たせる夏の畑

折壁 走 男公

《選者吟》

孫帰リ渋沢も居ず秋の風



「ふれあい」文芸コーナーでは、投稿作品を募集しています。毎月25日が締切りとなっておりますので、郵送もしくは室根市民センターへ直接お持ちください。

選者による添削ののち、選ばれた句が翌号に掲載となります。【例： /25 締切分→ /1 発行号掲載】皆さんの投稿をお待ちしております！